

△アスベリンシロップ・▼錠・▼散・▼ドライシロップ [内]

【重要度】 【一般製剤名】 チペピジンヒベンズ酸塩 tipepidine hibenzate 【分類】 中枢性鎮咳剤

【単位】 △0.5%シロップ, ▼10mg・▼20mg錠, ▼10%散, ▼2%DS

【常用量】 60～120mg/日

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 延髄の咳中枢を抑制し咳の感受性を低下させると共に、呼吸はむしる興奮的に作用し、気管支腺分泌を亢進し、気道粘膜線毛上皮運動を亢進することにより去痰作用を示す。

【主な副作用・毒性】 甲状腺機能亢進、アナフィラキシー様症状、眠気、めまい、消化器症状など

【tmax】 1.3hr (1)

【代謝】 N-脱メチル化体が同定されているが、その他の未知の代謝物も多い (1) グルクロン酸抱合もされる (1) 代謝物の影響により赤味がかかった着色尿が認められることがある (1)

【排泄】 尿中回収率 20% (1)

【t1/2】 1.8hr (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 517.66

【透析性】 データなし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【pKa】 7.66 (1)

【更新日】 20151209

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。